



カスミのSDGs

地域の産業・暮らし

地域と連携し産業振興・ 買い物弱者支援に取り組んでいます

SDGsでは「産業と技術革新の基盤をつくろう」という目標が掲げられています。カスミは地域の農業生産者や食品メーカーなどと協働し、地産地消を進めることで、地域産業の振興に取り組んでいます。また、「住み続けられるまちづくりを」の目標に関連して、買い物弱者を支援する移動販売を通じて地域の暮らしをサポートしています。

課題

人口減少による地域産業の停滞、買い物不便地域の拡大に対し、ますます行政や地域社会、生産者との連携が必要

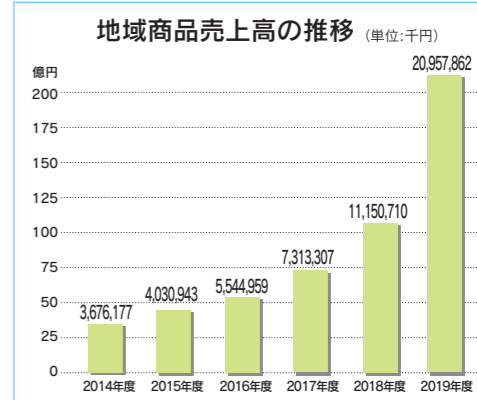
目標

- ・地域商品の売上高 [209億円(2019年度) → 280億円] **アップ**
- ・移動スーパー実施エリアの **拡大**



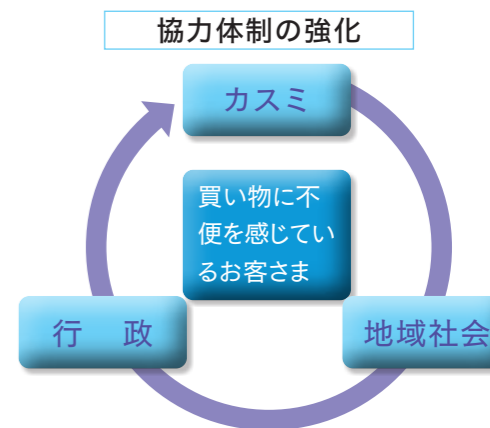
地元生産者と協働で 振興を図るカスミの 地域商品と地元野菜

2001年から地元生産者さまの協力のもと、長く愛され続けるふるさとの味を「地域商品」として大切に販売しています。地元で採れた新鮮な旬の野菜「地元野菜」は、約1,600人の生産農家さまの協力を得て161店舗でお客さまにご提供しています。



地域のニーズに合わせ 安心と健康をサポートする カスミの移動スーパー

買い物が不便な地域に商品をお届けする移動販売を、行政や地域社会と連携し、茨城県の4市1町で実施(2020年4月末現在)。生鮮食品や惣菜、牛乳、パンなど約400品目をご提供しています。



移動スーパーの実施状況

